

令和7年度 西都市立三財小中学校 学校評価書

学校経営ビジョン 「自立」、「探求」、「貢献」をキーワードに教育活動を展開し、基礎学力と総合的な学力を身につけさせるとともに、家庭と地域と連携し、それぞれの子どもの良さや可能性を最大限に引き出し、子どもの姿を通して、信頼される学校を目指す。

…4と3の評価が80%以下の項目 ※小さい英数字は前年度 【評価】4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：思わない

評価項目	4と3の割合(%)			自己評価	考察及び改善策	学校運営協議会委員の見解		総合評価
	4	3	2			評価	意見	
信頼される学校づくり	① 小中一貫性のメリットを生かした指導を行っている。	98 ₈₈	94 ₈₇	95 ₉₂	<p>① 三者とも評価が高く、小中一貫のよさが浸透している。</p> <p>② 児童・教師と比べて保護者の評価がやや低い。職員で分担しホームページを随時更新しているが、安心メールと異なり、自分からアクセスしなければ閲覧できないことが影響しているが、安心メールに、安心メールにホームページのアドレスを添付するなど試してみたい。</p> <p>③ 三者とも評価が高く、多様な地域人材が行事や授業に協力してくださっていることを児童生徒も保護者も理解しているものと思われる。</p> <p>④ 三者を比較すると、若く保護者の評価が低めである。この項目は昨年度と同じであるが、設問を少し変更し「支援が適切に」の部分を実体化して、「優しさや厳しさを織り交ぜながら」の文言を入れている。中には、バランスを欠いているように感じている方がいるのではないかと。「優しさ・厳しさ」の解釈は分かれるところであるが、学校としては、児童生徒に寄り添いつつ、自分の課題に自ら向き合うことができるような支援に努めたい。</p> <p>⑤ 肯定的評価が81%に止まっている（評価者は教師のみ）。今年度は2年に1回実施される学校支援訪問が1月中旬にあり、運動会と指導案作成の時期が重なったことも影響しているのではないだろうか。次年度は単独の小学校に戻ることも踏まえ、業務内容の精選などに取り組むたい。</p> <p>⑥ 今年度のみこの項目であるが、教師と比べて保護者の評価が低いのは、学校の取組を伝えていないためとと思われる。中学校開校の準備（記念誌、式典・懇話会）は順調に進められている。また、同時に小学校が単独校に戻る準備も進めている。</p>	<p>① 小中一貫は他の学校にない良さがないので、それがなくなるのは残念だ。開校式でこのようなイベントがあるのが楽しみである。</p> <p>② 学校の授業が始まっている時間なのに支援学級の生徒を時々見かける。この子がなぜこんな所を歩いているのか不思議に思う。</p> <p>③ クラスの人間関係に絡んで不登校になりそうだった子どもがいたときに、担任とベテラン教師の連携で解決したことは高く評価できる。</p> <p>○ この項目においても高評価で、特に日々学校生活を送っている児童生徒からの評価が高い点が、先生方との信頼関係が出来ていて、学校愛が育っているのだろうと感じた。先生方も全力投球でやっておられることが伝わり、三財地域づくり協議会のへそ祭りやへそハイキングに参加されている様子からも熱意を感じた。また、地域の人材を活用した取組なども積極的に行われていると思う。働き方改革では、ICT等を手早く活用されており、時短効果や行事等の見直しで負担軽減を図っておられると思う。</p> <p>○ 教師と保護者の評価を比較すると差がみられる。信頼される学校づくりにおいて、保護者と学校の距離が近いことが重要なので、保護者が学校に足を運ぶ仕掛け、そして、学校からの保護者に対する情報発信が必要かと考える。</p> <p>○ 小中一貫校のメリットを生かした指導は十分できていて、次年度からは小学校のみになるので、さらに学校運営全般において、保護者、そして地域の方が必要になってくるのではないかと。</p> <p>○ クラスの人間関係に絡んで不登校になりそうになった子どもに対して、担任とベテラン教師が連携して解決したことは高く評価できる。</p>	A	
	② 通信やホームページ等を通して積極的な情報発信をしている。	91 ₇₉	86 ₈₅	100 ₁₀₀				
	③ 学校運営協議会を中心に地域の人材を活用した取組を積極的に行っている。	93 ₈₈	93 ₈₅	92 ₉₀				
	④ 児童生徒への支援が適切に行われている。	97 ₉₂	85 ₈₂	100 ₁₀₀				
	⑤ 働き方改革が進められている。			81 ₈₄				
	⑥ 中学校再編・開校に向けた取組を計画的に行っている。（新設）		86	100				
黒土大地のよと、三つの財（たから）をもち、地域に貢献する児童生徒の育成	⑦ Qubenaやスマイルドリル等を活用した個別最適な学習が推進されている。	92 ₈₈	76 ₇₂	100 ₉₂	<p>⑦ 教師と児童生徒の評価が高いことに比べ保護者の評価が低くなっている。学校から家庭に対して「Qubena等の活用に関する情報や学習の効果」が十分に伝わっていない可能性がある。また、具体的な設問にある「一人一人に合った学習」という点について、保護者には評価が低いというところも考えられる。タブレットを利用したドリル学習などについて、種別や方法・効果などについて保護者に知らせていきたい。</p> <p>⑧ 保護者の評価が昨年度と比べて12%アップしている。家読（うちどく）は、各家庭での取組であり、ファミリー読書週間等の取組でも意識して取り組んでいる成果ではなないだろうか。</p> <p>⑨ 保護者の評価は、80%を超えているものの若干低く、昨年度も同程度の評価であることは真摯に受け止める必要がある。引き続き、授業研究を通して児童生徒が「分かった・できた」と実感できる授業づくりに努めたい。</p> <p>⑩ 教師がICT機器を十分に活用していることが分かる。</p> <p>⑪ 児童生徒の課題克服のために今年度新設した項目である。教師・保護者ともに高い評価であり、学校としての共通実践ができていることに併せて、取組が保護者にも伝わっていることが伺える。今年度は9年生生との学びと学びの場での活躍など、成果が目に見えやすい活動があったが、中学生のいない来年度は、授業を中心とした地道な取組が重要になる。</p>	A		
	⑧ 「家読（うちどく）」やぐんぐんタイム、家庭学習と朝自習の連携などを通じて、読解力を高めるような取組が行われている。	95 ₈₇	92 ₈₀	100 ₉₆				
	⑨ 児童生徒が「分かる・できる」と感じるような指導を行っている。	95 ₈₈	83 ₈₁	100 ₁₀				
	⑩ 児童生徒のディベネスを把握するためにICT機器を効果的に活用している。			100 ₈₈				
	⑪ 人前で自分の考えをはっきり述べることでできる児童生徒を育成するための授業改善や授業外の活動が行われている。（新設）		90	95				
基礎学力の向上	⑫ 児童生徒が地域の行事や活動に積極的に参加したいと思うような指導を行っている。	76 ₆₇	89 ₇₃	100 ₈₈	<p>⑫ 保護者と教師の評価が高いことに比べて、児童生徒の評価が76%とやや低い。ただ、前年度の67%と比べると9%上がっており、今年度の評価はプラスに受け止めた。また、児童生徒が参加できる地域ごとの行事が減少していることや、来年度は小学生のみになることも考慮し、「児童の主体性を育む教育を行っている」など、項目の妥当性を改めて検討したい。</p> <p>⑬ 保護者の評価が99%と極端に低いと同時に教師の100%と大きな開きがある。設問に対する設問が「…指導をしている。」で、指導の状況を問うているのに対して、教師への設問は「お子さんは、…調べたり…取り組んだりしている。」と、結果としての子どもの姿について聞いている。このことから結果に開きがあるのは当然であるが、保護者に見えぬ姿として児童生徒が自ら課題を見つたり調べたりするには至っていないことが伺える。アンケートの設問の整合性を図るとともに、引き続き、全教科で「問い」を大切に授業実践に努め、主体的に学力を育てたい。</p> <p>⑭ 保護者の評価が46%と極端に低い。教師も81%で若干低めである。設問に「海外に興味をもって」の文言を含んでおり、達成の難易度が高い項目であることが影響しているのではないかと考える。児童生徒の73%が肯定的な回答をしているのは、むしろプラスに評価してよいと考える。</p>	B		
	⑬ 教科やさいと学級の学びにおいて、子どもたちが自ら課題を見つけ、問題を解決していくといった指導が行われている。	87 ₇₈	59 ₅₉	100 ₉₆				
	⑭ 児童生徒が英語や海外に興味があると答えるような指導を行っている。	73 ₆₆	46 ₄₇	81 ₈₀				
	⑮ 児童生徒による学校行事の企画・運営が積極的に行われているなど、児童生徒の主体的な活動が展開されている。	92 ₈₆	92 ₈₁	100 ₈₈				
総合的な学力の向上	⑯ 学校行事の前後の指導が充実しており、児童生徒のやる気や満足度が向上している。	89 ₈₇	82 ₇₆	95 ₉₃	<p>⑮ 三者とも高い評価であり、保護者からの評価は昨年度と比べて11%上がっている。9年生生案の運動会での取組やへそ祭りに中学生部生が参加し、当日運営に携わって、生徒の姿が目に見えることが高い評価に結び付いているのではないかと。</p> <p>⑯ 教師や児童生徒と比べて保護者の評価がやや低いのは、行事の前後の指導については、保護者に分りにくいことが影響しているのではないだろうか。保護者への設問の後半は「児童生徒のやる気や満足度が向上している。」としており、行事を通して児童生徒が充実感をもつことができる指導を引き続き行うことが重要である。</p>	A		
	⑰ 自分や周りの命の大切さを考えさせる指導を行っている。	98 ₉₅	93 ₉₁	90 ₁₀₀				
自己肯定感と豊かな人間性の育成	⑱ S.Sカード記入を定期的に行わせ、基本的な生活習慣の実践把握と保護者への啓発に努めている。	91 ₈₈	70 ₆₃	100 ₁₀₀	<p>⑰ 三者とも90%を超える高い評価になっているが、この項目は「命」や「安全」に係るものになっており、教師の回答は100%肯定的なものにしたい項目である。</p> <p>⑱ 学校としては十分に啓発活動を行っているが、家庭での児童生徒の姿は「規則正しい生活習慣」になっていると答えているという点とされる。生活習慣については、家庭でなければ改善が難しいところであるが、保護委員会などを通して、生活習慣が大切であるという全体の雰囲気醸成できるようにしたい。</p> <p>⑲ 保護者の評価が高いのは、児童生徒が自分で運動をしている姿があるからではないだろうか。小学校の持久走記録会には、たくさんご家族が参観に来られた。三財の児童生徒のよさとして生かしたい長所である。</p> <p>⑳ 啓蒙に関する対応として、実際にお迎えをお願いしたことなどを通して、三者とも安全や防災に対する意識が高くなっていると思われる。</p>	A		
	⑲ 体力向上プログラムに基づいた授業の充実と体力向上の活動の充実を努めている。	88 ₇₉	93 ₈₃	86 ₇₆				
	⑳ 安全、防災意識の育成が図られている。	93 ₉₂	97 ₈₆	100 ₈₈				
	㉑ 児童生徒に役割を持たせ、主体的に行事などの運営ができるようサポートしながら行っており、達成感や自己肯定感を高められる取組ができていると思う。 <p>㉒ 小中一貫校のメリットを生かして学校行事の企画・運営を積極的に行うことができたと思う。次年度から中学生がいなくなり小学生のみになるが、行事を通して児童が充実感を持つことができる指導をお願いしたい。</p> <p>㉓ 運動会で下級生を優しく指導している上級生、特に中学生の姿を見てほっこりした。</p> <p>○ 子ども達の主体性に関しては、尺度が分からず評価が難しい。</p>							
健康・安全意識と体力の向上	㉒ 児童生徒に役割を持たせ、主体的に行事などの運営ができるようサポートしながら行っており、達成感や自己肯定感を高められる取組ができていると思う。 <p>㉒ 小中一貫校のメリットを生かして学校行事の企画・運営を積極的に行うことができたと思う。次年度から中学生がいなくなり小学生のみになるが、行事を通して児童が充実感を持つことができる指導をお願いしたい。</p> <p>㉓ 運動会で下級生を優しく指導している上級生、特に中学生の姿を見てほっこりした。</p> <p>○ 子ども達の主体性に関しては、尺度が分からず評価が難しい。</p>	91 ₈₈	70 ₆₃	100 ₁₀₀	<p>⑳ 生活習慣の実態において、教師と保護者の評価に30%の隔りがあるが、今後の対策として、もう少し分析してみたいとはどうか。</p> <p>㉑ 楽しい時走走った。（一定時間に走った距離を記録する方法）</p> <p>㉒ 体力は向上しているのだろうか。駅伝大会は、昔は強かった。</p> <p>㉓ ココナが5類に移行したとはいえ、先生達の気遣いには頭が下がる。また、定期的な防災訓練や気象変化に伴う子ども達への安全配慮（安心メールによるお迎え周知を含む）も助かった。</p> <p>㉔ 今年度は防災意識が高まったと思う。</p> <p>○ ホームページに年間行事の写真を掲載されているのを見て健康・安全意識、体力の向上を図った活動・取組をされていると思った。次年度から小学校のみになるが、子ども達が小中一貫校で得たものを引き継いでくれることを期待する。</p>	A		
	㉓ 児童生徒に役割を持たせ、主体的に行事などの運営ができるようサポートしながら行っており、達成感や自己肯定感を高められる取組ができていると思う。 <p>㉒ 小中一貫校のメリットを生かして学校行事の企画・運営を積極的に行うことができたと思う。次年度から中学生がいなくなり小学生のみになるが、行事を通して児童が充実感を持つことができる指導をお願いしたい。</p> <p>㉓ 運動会で下級生を優しく指導している上級生、特に中学生の姿を見てほっこりした。</p> <p>○ 子ども達の主体性に関しては、尺度が分からず評価が難しい。</p>	88 ₇₉	93 ₈₃	86 ₇₆				
	㉔ 今年度は防災意識が高まったと思う。 <p>○ ホームページに年間行事の写真を掲載されているのを見て健康・安全意識、体力の向上を図った活動・取組をされていると思った。次年度から小学校のみになるが、子ども達が小中一貫校で得たものを引き継いでくれることを期待する。</p>	93 ₉₂	97 ₈₆	100 ₈₈				
	㉕ 児童生徒に役割を持たせ、主体的に行事などの運営ができるようサポートしながら行っており、達成感や自己肯定感を高められる取組ができていると思う。 <p>㉒ 小中一貫校のメリットを生かして学校行事の企画・運営を積極的に行うことができたと思う。次年度から中学生がいなくなり小学生のみになるが、行事を通して児童が充実感を持つことができる指導をお願いしたい。</p> <p>㉓ 運動会で下級生を優しく指導している上級生、特に中学生の姿を見てほっこりした。</p> <p>○ 子ども達の主体性に関しては、尺度が分からず評価が難しい。</p>							
	㉖ 児童生徒に役割を持たせ、主体的に行事などの運営ができるようサポートしながら行っており、達成感や自己肯定感を高められる取組ができていると思う。 <p>㉒ 小中一貫校のメリットを生かして学校行事の企画・運営を積極的に行うことができたと思う。次年度から中学生がいなくなり小学生のみになるが、行事を通して児童が充実感を持つことができる指導をお願いしたい。</p> <p>㉓ 運動会で下級生を優しく指導している上級生、特に中学生の姿を見てほっこりした。</p> <p>○ 子ども達の主体性に関しては、尺度が分からず評価が難しい。</p>							
	㉗ 児童生徒に役割を持たせ、主体的に行事などの運営ができるようサポートしながら行っており、達成感や自己肯定感を高められる取組ができていると思う。 <p>㉒ 小中一貫校のメリットを生かして学校行事の企画・運営を積極的に行うことができたと思う。次年度から中学生がいなくなり小学生のみになるが、行事を通して児童が充実感を持つことができる指導をお願いしたい。</p> <p>㉓ 運動会で下級生を優しく指導している上級生、特に中学生の姿を見てほっこりした。</p> <p>○ 子ども達の主体性に関しては、尺度が分からず評価が難しい。</p>							